

旧騎西高校の活用

宿泊施設としての活用についての考えは

答弁… 埼玉県とサッカー協会との間で全体的な利用の協議が行われていると聞いており、市では、協議が円滑に進むように協力してまいりたいと考えております。

吉田 健一 議員

吉田 旧騎西高校の活用も埼玉県サッカー協会と連携して進めることが決まり、平成29年度事業費として9982万7千円が措置されました。現在工事も進められておりますが、これからのスケジュールについて伺います。

また、4階建ての普通教室棟に市の負担でエレベーターを設置し、宿泊施設としての活用を提案いたしますが、考えを伺います。

生涯学習部長 埼玉県により、グラウンド整備に支障となる工作物や樹木、植栽などの撤去が行われました。今後は、サッカーグラウンドの整備等が具体的に始まるものと存じております。

宿泊施設としての活用

につきましては、埼玉県に確認したところ、第一段階として、普通教室棟の1階部分のトイレの改修等を行い、埼玉県サッカー協会が活用する予定であると伺っております。

市長 校舎の施設をどうするかということについては、一部活用が決まっておりますが、全体的にはこれからというところであり、現在、埼玉県とサッカー協会との間で全体的な利用の協議が行われていると聞いております。市といたしましては、協議が円滑に進むように協力してまいりたいと考えており、ご提案の件につきましては、今後の協議の推移を見てまいりたいと考えております。

湛水被害対策

基幹排水路整備促進についての考えは

答弁… 稲荷木落排水路については、今後も引き続き事業の進捗を図り、十王堀排水路については、国の事業として実施できるよう、事業着手の体制づくりを進めてまいりたいと考えております。

松本 英子 議員

松本 6月定例会で稲荷木落排水路については、トータルとして最終年度だけは確保し、そして、十王堀排水路については、埼玉平野地区の事業化について、事業化が着実に着手され、進展するために努力するというご答弁をいただいているところ、早期に計画どおりに事業が進み、湛水被害を解消し、災害に強いまちづくりをさらに前に進めていけるようご努力をお願いいたします。埼玉平野地区事業化につきましても、地域から声を上げ、新年度に向けて前進するための考えを伺います。

市長 大利根地域においては、この排水路が生命線であるとの考え方に

立つており、まずは稲荷木落排水路を早期に予定区間の工事を完成させるよう、今後も引き続き事業の進捗を図ってまいりたいと考えております。

また、十王堀排水路については、稲荷木落排水路と同じやり方では、相当年数がかかってしまうため、利根川と中川の間地域の排水対策を国の事業として実施していただくために、地元の代議士や県議会議員と一体となって、採択に向けて事業着手の体制づくりを進めてまいりたいと考えております。それが出来れば、あとは毎年事業の推進が図られると思っておりますので、私も一生懸命汗をかかせていただきます。

排水機場維持管理

水害対策についての考えは

答弁… 水害で人の命が失われることや、生活がこれで一変するようなことがないように、市として対応していくことが責任であると考えております。

及川 和子 議員

及川 台風や豪雨の時に雨水を強制的に排水する排水機場のポンプが止まってしまうと、北川辺地域内の水を排水することではできません。そのため、市は2012年から3台のポンプの改修を毎年行ってきました。しかし、渡良瀬川の水位が10メートルを超えるると渡良瀬川の方の水位が高くなり、水門が閉まるため、北川辺地域の排水を流すことが出来なくなりました。

排水機場が機能しなくなった時のことも考えておくことが必要です。そして、災害は必ず襲ってくるという観点から、広域避難についても力を入れて、取り組むことが大事になってくると思います。考えをお伺いします。

市長 北川辺排水機場

については、維持管理を怠ることなく、今後も確実に対応してまいりたいと考えております。さらに北川辺地域の水害対策は、排水機場のようなハード面と避難対策というソフト面を合わせ、常に確実な形にしておく必要があります。その中で避難方法については、広域避難へと考え方が変わってきており、その周知については、十分に行わなければならないと思っております。最終的には、北川辺地域も含めて、水害で人の命が失われることや、少なくとも生活がこれが一変するようなことがないように、市として対応していくことが責任であると考えております。